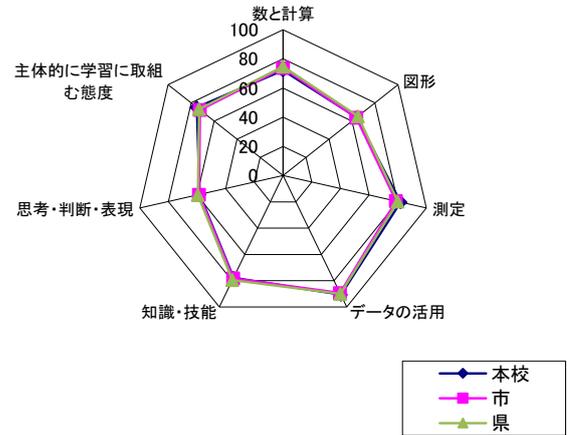


# 宇都宮市立横川中央小学校 第4学年【算数】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	72.2	73.8	74.8
	図形	64.0	63.7	65.3
	測定	82.0	78.9	80.1
	データの活用	90.6	89.3	90.0
観点	知識・技能	77.9	78.3	79.5
	思考・判断・表現	58.3	58.6	59.5
	主体的に学習に取り組む態度	75.1	72.3	73.1



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平均正答率は72.2%で、県より2.6ポイント下回っている。</li> <li>○わり算の余りを切り上げて処理する問題とその理由を説明する問題の正答率は72.2%で、県より6.2ポイント上回っている。</li> <li>●整数－小数第一位の計算の問題の正答率は31.1%で、県より17.2ポイント下回っていて、無解答率も県より高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の学習や授業、AIドリル等を利用し、年間を通して継続的に計算練習に繰り返し取り組み、基礎的・基本的内容のさらなる定着を図る。</li> <li>・授業の中で、小数の引き算の計算のしかたを言葉や式などを用いて表したり、互いに説明し合ったりする数学的活動を充実させることで、自分の考えをもち、最後まで粘り強く取り組む態度の育成を図る。</li> </ul>
図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平均正答率は64.0%で、県より1.3ポイント下回っている。</li> <li>○「二等辺三角形を作図することができる。」の正答率は94.4%で、県より6.3ポイント上回っている。</li> <li>●大きさが同じ6個のボールがぴったり入っている箱の横の長さから、ボールの半径の長さを求めることができる」の正答率は52.2%で、県より12.2ポイント下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形単元の授業の中で、既習事項を確認し、復習ができるような授業展開を行う。</li> <li>・具体物を用いて指導し、球の半径や直径の意味について、視覚的に理解できるようにする。</li> <li>・図形を学ぶ際には、マス目などの視覚的支援を行うことで図形の特質を理解させ、すべての児童が理解しやすいような支援を行っていく。</li> <li>・設問の意味を理解し合うような学び合いの場を計画的に設定し、自ら作図をしたり自分の考えを説明したりすることで、課題解決に向かう力を高めるような指導・支援を行う。</li> </ul>
測定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平均正答率は82.0%で、県より1.9ポイント上回っている。</li> <li>○身近にあるものの重さを予想して、適切な単位を使って表すことができる問題の正答率は80.0%で、県より12.4ポイント上回っている。</li> <li>●はかりの目盛りの読み方を理解しているかを問う問題の正答率は84.4%で、県より2.1ポイント下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・測定単元の授業の中で、既習事項を確認し、復習ができるような授業展開を行う。</li> <li>・長さや重さの単位について、朝の学習や宿題等で、定期的に復習に取り組むようにし、基礎・基本の確実な定着を図る。</li> </ul>
データの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平均正答率は90.6%で、県より0.6ポイント上回っている。</li> <li>○棒グラフで、1目盛りの表す数が分かるかを問う問題の正答率は91.1%で、県より0.9ポイント上回っている。</li> <li>○棒グラフを読み取り、2番目に多かった組を指摘する問題の正答率は90.0%で、県より0.2ポイント上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から、問題文や資料を読み取り、読み取ったことを正しく説明する場を増やしていくようにする。</li> <li>・国語や社会科、総合的な学習の時間等において、グラフや表を用いて表現したり互いに説明したりする活動を積極的に取り入れるなど、他教科との関連を図る。</li> </ul>